

2026年4月27日
サイバートラスト株式会社
代表取締役社長 北村 裕司
東証グロース：4498

福島市教育委員会が安全な校務環境の構築を目指し、 サイバートラストのデバイス証明書管理サービスを導入

～「デバイス ID」の利用により、Chromebook 環境において
文部科学省のガイドラインに則した多要素認証と端末認証による強固なアクセス制御を実現～

サイバートラスト株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：北村 裕司 以下、サイバートラスト）は、福島市教育委員会（福島県）が、教員向け Chromebook 環境におけるセキュリティ強化を目的として、デバイス証明書管理サービス「サイバートラスト デバイス ID（以下、デバイス ID）」を導入したことを発表します。この導入により、文部科学省が学校で実施すべきセキュリティ対策として「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」で定めている多要素認証を含む強固なアクセス制御を実現しています。

■導入の背景

福島市教育委員会は 2025 年、教員の校務 DX 推進とセキュリティ強化を目的に全教員へ Chromebook を配布し、クラウド型の業務環境へ移行しました。Windows アプリケーション利用のため、指導者用の Chromebook と校務用の Windows PC を 2 台持つことや、VMware 経由で VDI を利用することも検討し、セキュリティ・利便性・コストを総合的に勘案し Windows 365 クラウド PC を導入しました。そこで、福島市教育委員会の管理する Chromebook でのみ Windows 365 を利用できるように制御するアクセス管理が新たな課題となりました。また、セキュリティを強化しながらも、教員の負担を増やすことなく円滑に運用できる環境も求められていました。

■導入の経緯

こうした課題に対し、福島市教育委員会の ICT 環境構築を支援してきた株式会社エフコム（本社：福島県郡山市、代表取締役社長：斎藤 正弘）では、多要素認証および端末制限を実

現できるソリューションの調査を開始。複数の製品を比較検討する中で、Chromebook での導入実績が明確である点や、運用負荷を抑えつつ文部科学省のガイドラインに定められたセキュリティ対策を実現できる点を評価し、「デバイス ID」の採用を決定しました。

「デバイス ID」は、許可された端末のみにデバイス証明書を配付することで、不正端末からのアクセスを防止するデバイス証明書管理サービスです。証明書はエクスポートできない形で管理されるため、管理外端末へのコピーなども防止できます。また、Chromebook 利用時の Google アカウントログインをトリガーに証明書の自動配付が可能であり、利用者側の操作を必要としない点も採用の決め手となりました。

■導入効果

導入にあたっては、1,650 ライセンスのデバイス ID を調達し、既に教員へ配布済みの Chromebook を回収することなく、遠隔からインストールを実施しました。管理者による操作のみで展開が完了し、教員からの問い合わせもほとんど発生することなく、スムーズな導入を実現しました。

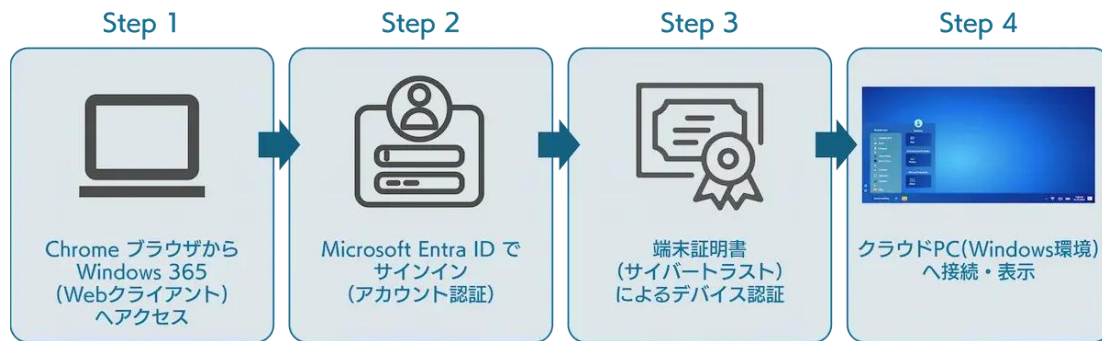
デバイス ID の導入により、主に以下の効果が得られています。

- ・管理対象端末のみに限定した仮想マシン（Windows OS）へのアクセス制御
- ・文部科学省のガイドラインに則した多要素認証と端末認証による強固なアクセス制御
- ・セキュリティが担保された環境での校務のロケーションフリー化により、安全かつ働きやすい環境を実現

これにより、福島市教育委員会ではセキュリティと利便性を両立して安全な校務遂行が可能となりました。

■今後の展望

教育現場では、校務の DX 推進や働き方改革の観点から、安全性を確保しながら場所にとられない業務環境の整備が求められています。福島市教育委員会では今後も、セキュリティを担保しつつ教員の業務効率化を支援する ICT 環境の整備を進めていく予定です。



Chromebook 環境で Windows 365 を利用する際の多要素認証イメージ

■サイバートラスト デバイス ID について

「サイバートラスト デバイス ID」は、端末識別情報を確認し、管理者が許可した端末にのみデバイス証明書を登録することによって、厳格な端末認証を可能にするデバイス証明書発行管理サービスです。Windows、iPhone、iPad、Mac、Android 搭載端末や Chromebook などの幅広い端末に対応しています。管理者が発行申請したデバイス証明書を該当端末に確実に配付し、デバイス証明書を登録した端末のみを接続先のネットワークにアクセス可能にすることで、不正アクセスを防ぎ安全なサービス利用環境を構築できます。

「サイバートラスト デバイス ID」についての詳細は、[こちら](#) をご参照ください。

■関連 Web サイト

福島市教育委員会「サイバートラスト デバイス ID」導入事例：

<https://www.cybertrust.co.jp/case/deviceid-fukushimashi-kyoikuiinkai.html>

■サイバートラスト株式会社について

サイバートラストは、日本初の商用電子認証局として 2000 年より提供している認証・セキュリティの技術を活用したトラストサービスと、Linux のカーネル技術やオープンソースソフトウェア (OSS) の知見を応用したオンプレミス、クラウド、組込み領域向けのプラットフォームサービスを展開しています。また、これらの技術や実績を組み合わせ、IoT をはじめとする先端分野に向けて、「ヒト・モノ・コト」の正しさを証明し、お客様のサービスの信頼性を支えるサービスを推進しています。

「すべてのヒト、モノ、コトに信頼を」。サイバートラストは、IT インフラに関わる専門性・中立性の高い技術で、安心・安全な社会を実現します。

当リリースに関するお問い合わせ先

サイバートラスト株式会社

メール：IR 担当(ir@cybertrust.co.jp)、広報担当 (press@cybertrust.co.jp)

* 本リリースに記載されている会社名、製品名、サービス名は、当社または各社、各団体の商標もしくは登録商標です。